

能代宇宙イベント ロケット甲子園 2011

(TARC2012 in JAPAN)

日本モデルロケット協会

2012年5月に、米国ワシントン DC で開催される全米の高校生 1000 チームが参加するロケット競技会の決勝戦 100 チームに、日本代表チームとして参加する権利を得る大会です。8月21日に秋田県能代市、浅内の能代宇宙イベント会場で開催されたロケット甲子園は、東日本大震災の影響もあり、参加校は北海道慶祥高校と昨年のロケット甲子園の優勝チームで、今年の5月に日本代表チームとして米国の決勝戦に参加し 84 位の成績であった岩手高校の 2 校のみでしたが、競技規則が大変難しくなったため、生卵破損で失格と、回収不能で記録なしがあり、結果、TARC2012 への日本代表チームは該当無しとなりました。

TARC2012 競技規則

全質量 650g 以下、使用エンジンは F 型以下、生卵 2 個搭載、
指定高度 800 フィート(244m)、指定滞空時間 43 秒から 47 秒

(TARC2011 との違い、使用エンジンが G 型まで、全質量 1kg 以下、生卵 1 個、指定高度 750 フィート、指定滞空時間 40 秒から 45 秒)

ロケット甲子園 2011 競技結果(TARC2012 in JAPAN)

立命館慶祥高等学校

1 回目 高度 638 フィート(191.4m)

滞空時間 29.965 フィート

生卵 2 個搭載のうち 1 個破損

結果 失格

2 回目 高度 記録無し

滞空時間 39.995 秒

生卵 記録無し

生卵、高度計器搭載のペイロードが競技時間内に回収不能のため記録無し

結果 記録無し

岩手高等学校

1 回目 高度 468 フィート(140.4m)

滞空時間 23.563 秒

生卵 2 個搭載のうち 1 個破損

結果 失格

2回目 高度910フィート(273m)

滞空時間 18.3秒

生卵 2個搭載のうち2個破損

結果 失格

(パラシュートが放出されず、地上に硬着地)